暴力・暴言・ハラスメント根絶のためのチェックシート(スポーツ少年団指導者用)

暴力・暴言・ハラスメントを根絶するためには、自分自身の暴力・暴言等に関する認識を再認識したり、児童生徒への指導の在り方を見直したりすることが重要です。年に数回チェックシートを活用し、行動を振り返ってみましょう。

No	チェック項目	自己評価 (当てはまる項目を チェックする)
1	どの児童生徒にも指導者から積極的にあいさつをしているか。また、児童生徒からのあいさつに対して丁寧に明るくこたえているか。	
2	児童生徒によって異なる呼び方をしていないか。(「さん・君」で呼ぶ児童生徒と、呼び捨てや愛称で呼ぶ児童生徒等)	
3	遅刻が多い児童生徒に対して、理由を詳しく聞かずに指導していないか。(本人の責任でなく、家庭等に原因がある可能性を見過ごしていないか)	
4	児童生徒に要求しながら「指導者は別」と言うことがないか。	
5	小さいいじめやしごきを経験することは、児童生徒の成長過程に必要と感じていないか。	
6	児童生徒と話すとき、「お前」「お前たち」と言うことがないか。	
7	「またか」「いつも…だ」などと、児童生徒を固定的・断定的に見た言い方をしていないか。	
8	理由や意義の説明をせず、ルールを守らせることのみを指導をしていないか。	
9	他校の児童生徒と比較するなど、優劣を感じさせるような言動をしていないか。	
10	「この程度のことも出来ないのか」などと、児童生徒を蔑んだ言い方をしていないか。	
11	児童生徒による人を傷つけるような言動を見逃していないか。(活動中だからとって見逃していないか等)	
12	児童生徒のミスに対して、大声で怒鳴ることはないか。	
13	児童生徒に対して「使えない」「下手くそ」「やめろ」「どうせ勝てない」などの発言をしていないか。	
14	「バカ」、「アホ」、「死ね」、「クズ」、「デブ」、「チビ」などの人格等を否定する言葉遣いをしていないか。	
15	他の指導者による人権侵害の可能性のある言動等に対して、見て見ぬふりをしていないか。	

【 自己評価 : チェック項目が多い場合、暴力・暴言・ハラスメント、子どもへの人権侵害の恐れがあります。】